

地域
の
かわら版

まるやま

市長出前講座『地域づくり勉強会』

6月17日（日）市長出前講座が開催されました。今回の市長出前講座は、「郷づくりまるやま」の皆さんが『地域づくり勉強会』という題名で、市長のお話を伺いました。

市長からは「地域づくり」に関して、これが回答というものはありません。やりながら一緒に考えていくことだと思います。基本的にまちづくりは市民の皆さんが主体になって、行政はお手伝いですが、どうしても行政依存の傾向になってしまいがちです。この地域づくり協議会が他の団体と連携していけるようになったら良いのではないのでしょうかとお話があり、その後、意見交換になりました。最後に市の方も活動しながら、改善しながらやっていきますので宜しくお願いいたしますとお話がありました。



「地域づくり勉強会」の様子

ほっとスポットひだまり開催報告

6月22日（金）第12回「ほっとスポットひだまり」が古川集会所で開催されました。今回は防災のお話をして頂きましょうとの提案で、日本赤十字社の能星さんが講師として来て下さり、応急処置のお話を交えながら、三角巾の使い方を教えて頂きました。

はじめに止血のお話があり、頭部での使用法、前腕の処置、腕のつり方、捻挫した時の固定を説明して下さい、これは使えそうと思いつつ、三角巾の使い方を実習しました。最後は毛布一枚とストッキングを使って体を包む方法と、ポリ袋の中にタオルをプリーツ状にたたんで入れたところへコップ一杯のお湯を注意しながら注ぎ、タオルに浸み込ませ、ポリ袋の口を塞いで体を温める方法でした。

また、丸山で防災士の資格を取得した方から、防災士になる為に受けた講義内容で、これはというポイントを教えて頂き、これからも他の場所でこのようなお話をしたいとの感想を参加者から戴きました。

次回の「ほっとスポットひだまり」の開催は、9月を予定しています。



毛布1枚で体を包みました



三角巾の使い方講習

No. 23

郷づくりまるやま会員
の体験記をご覧ください

大型輸送ヘリの体験搭乗

“澄み渡った大空をトビが風に揺られて舞う。
あんなに高い所から町を眺められたらなあ！”
子供心に誰もが一度はそんな想いを描いたこと
があるのではないだろうか。
偶然にも6月17日(日)、自衛隊峯岡駐屯地から
のヘリコプターの体験搭乗をする機会に恵まれた。

昭和30年頃には峯岡は、自衛隊のレーダー基地として主要な場所となっていたように記憶する。昭和33年頃、まだ地元高校生も通学の車中でアメリカの駐留軍兵士と乗り合わせることもあった。これらの軍人は鴨川から峯岡基地に行っていたものと思われる。

このたび自衛隊友の会の計らいによるイベントで、大型輸送用ヘリに初めて搭乗した。東日本大震災で実際の救助活動に携わったというCH-47Jだった。機内は最少限度の装備(座席、手すり、シートベルト等)だけと感じた。耳をつんざくような騒音は、あてがわれた防音用イヤホンがなければ居られない程だった。



20分程のフライトだった(が、鴨川から天津方面を迂回、洋上より和田浦周辺を経てヘリポートに戻るコースであった)。

曇天ながらも機窓から見る南房総は、密生した樹林、山裾に広がる耕作地、外房の紺碧の海とコントラストは素晴らしい。

前日からの雨水流入で、海の土砂堆積の様子も同時に窺える貴重な体験ができた。

次代の人達にこの素晴らしい環境を残すために、住民一人一人の環境保全に対する一層の努力とその義務感の必要性を感じた。



和田 豊

花・華倶楽部



花・華倶楽部では6月15日にローズマリー公園脇の休耕田の草刈作業を行いました。

その後、植栽した花の検討会を行いました。去年春、圃場に植えた球根は、ジンジャーが全て残っていました。花菖蒲も2・3株の花をつけていました。

しかし、彼岸花や水仙、ウコンは全てなくなっていました。これにより、この地には、ジンジャーや花菖蒲が合うことがわかりました。休耕田を管理して約1年たち、地質に合う植物の確認が出来ました。

また、この場所から、“タコノアシ”という国、県ともに絶滅危惧種である珍しい植物がみつかりました。

(湿地や沼、休耕田などの湿った場所に生育する多年草)

この奇妙な名前を持つ植物は、花の並んだ様子が、「吸盤の付いた蛸の足」のように見えるそうです。

そして、秋になると全身が真っ赤に紅葉し、まるで「ゆでだこ」状態となり、見ごたえ十分になるそうです。

9月から晩秋にかけて開花～紅葉を迎えるそうです。



セイタカアワダチソウに似ていますが、茎は赤です

▼地域のかわら版 まるやま 第23号

発行：平成24年7月26日(月)1回程度発行)

発行元：郷づくりまるやま

編集：地域づくり支援員

〒299-2592 南房総市岩糸2489(丸山地域センター内)

TEL：0470-46-2388 FAX：0470-46-3991

E-mail：msatodukuri@gmail.com

URL：http://civil.mboso-etoko.jp/group/detail.asp?id=84

